

2014年11月11日

**電通スポーツアジアがカンボジアの有力サッカークラブ  
「プノンペン・クラウンFC」と戦略的パートナーシップ契約を締結**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）の海外子会社である電通スポーツアジア※（本社：シンガポール、社長兼CEO：森村 國仁）は、この度、カンボジアの有力サッカークラブであるPhnom Penh Crown FC（以下「プノンペン・クラウンFC」）と戦略的パートナーシップ契約を締結いたしました。

2001年に設立されたプノンペン・クラウンFCは、カンボジアリーグを5回（2002年、2008年、2010年、2011年、2014年）も制している強豪チームです。同クラブのオーナーRithy Samnang氏（とその一族）は、飲料卸売業やカジノリゾートなどさまざまなビジネスを手掛ける人物として知られており、サッカー関連ではサッカーカフェやサッカーマガジンなどを展開し、カンボジアにおけるサッカー人気の底上げを図っています。

今回の戦略的パートナーシップの目的は、経済発展の著しいカンボジアで、人気スポーツのひとつとなっているサッカーコンテンツを活用し、日系・非日系を問わず企業・団体の同国における知名度やブランド力の向上・定着を支援していくことにあります。

また、プノンペン・クラウンFCは、青少年を育成する独自のプログラムを展開していることから、企業・団体にとって同チームは、性別や年齢を問わず広く現地の生活者との効果的・効率的なコミュニケーションが図れる重要な媒介者となります。

なお、2014年3月に開催されたカンボジアサッカー協会主催のフンセンカップにおいては、電通は同協会と大会のマーケティングに関するパートナーシップを締結し、協賛社をプロモートするなど大会の成功に貢献した実績があります。

今後、電通スポーツアジアは、2015年3月25日（予定）のカンボジアリーグのスタートに向けて、知名度やブランド力の向上を目指す協賛社のプロモートを行っていくとともに、カンボジアサッカー協会、プノンペン・クラウンFCとのパートナーシップを通して、カンボジアサッカー界のさらなる発展に貢献してまいります。

以 上

---

※電通スポーツアジア (Dentsu Sports Asia, Pte. Ltd.)

シンガポールを拠点にアジア、中東、トルコ、アフリカ、オセアニアにおけるスポーツマーケティング（放送権、スポンサーシップ、イベントマネジメント、PR、選手エンドースメントなど）およびコンテンツビジネスを展開する電通子会社。2010年設立。